



11/30 (金) 政経懇談会

事務局受付時間 月・火・木・金 10:00~16:00

発行人：(公社)全日本不動産協会相模原支部
TEL042-776-3036 FAX042-776-5816
毎月20日〆切・25日の月1回発行

支部研修会



教育研修委員長 山口 総一
10月29日、杜のホールはしもとにて支部研修会を開催致しました。講師 三位一体コンサルティングファーム有限責任事業組合(不動産鑑定士:高橋 芳明氏 税理士:福井 紀之氏 弁護士:高瀬 芳明氏)による「2022年生産緑地解除問題及び宅地建物取引士のビジネスチャンス」を演題に、2022年生産緑地解除に伴う具体的問題点や、生産緑地法の改正の動き等を不動産鑑定士、税理士、弁護士それぞれの視点から基本的な「2022年問題」とはを詳しく解説し、我々の業界で介入できるビジネスチャンスのポイントを解りやすくお話頂きました。特に生産緑地の鑑定評価における宅地建物取引士との連携の必要性のお話は、指針として大変に参考になるものではなかったでしょうか。一つの課題に対応する見解が3名の専門家それぞれの視点で語られたことが

今回の講話の興味深い処であったと感じました。これから解除時期が近づくに伴い、具体的な相談を受ける機会も増えてくるでしょう。今後も会員の皆様のビジネスのヒントになるような研修内容を継続し、支部から発信していけるテーマを追求して参ります。

新入会員紹介 (株)クレワホームズ

代表者 梅村 勉
商号・名前の由来
クレ→Creation(創造・創作) ワ→輪・和(人と人とのつながり、調和、協力し合う)
事務所の立地条件
大通りでは無いですが、地元の方も多数通る、人目に付きやすい立地です。
業種
建設業がメインとなります。
代表者紹介
何事にも前向きに取り組む。
趣味は料理・旅行・ドライブ
従業員の特徴
個性の強い人達が集まりました。
会社経営方針
社員一人一人、お客様の立場に立って仕事をし、住む方が毎日笑顔で過ごせる住まいを創造します。

相模川クリーン作戦

厚生副委員長 鈴木 克司
先月の28日、公益活動として相模川クリーン作戦に参加してきました。先ず、今回参加協力いただきました会員の皆様に御礼申し上げます。さて、数年振りに参加を致しましたが、年々落ちていくゴミが少なくなっているのを実感します。そのため、参加者のゴミ探しも範囲を外れないと集まらない事となっていて、ゴミ探しというよりも宝探しの感がないでもないのです。でも、ゴミを宝と思えるくらいゴミが少ないのも、毎年行っているクリーン作戦の賜物であると同時に河原利用者のモラルのおかげでもあるのです。当支部として、また会員として毎回参加しているクリーン作戦ですが、今後も「美しい相模原の自然維持」の一助になれば良いと思うのです。



不動産手帳発売中!
一冊 430円
相模原支部事務局にて販売しています。
在庫数18冊と少ない為、先着順となります。
お電話にてご確認の上お求めください♪

期首会員数 222社 (本店205・支店17)
★ 現会員数 226社 (本店207・支店19) ★
本年度入会数 8社 (本店6・支店2)
内新規入会数6社(本店5・支店1) / 内移管入2社(本店1・支店1) / 内転入0社(本店0・支店0)
本年度退会数 4社 (本4・支店0)
内退会数4社(本店4・支店0) / 内移管出0社(本店0・支店0) / 内転出0社(本店0・支店0)

- ◎新規開業者をご紹介ください
新入会員の紹介者には謝礼致します
- ◎支部会員支援メニュー
印刷機使用できます
インク1本 3000円
セルフ方式・使用は支部へ電話予約
- ◎支部販売物
○重要事項説明書補足資料1冊 100円
○従業者証明書 1枚 50円
○業者票 1枚 300円

種類	地区	本支	商号：代表：所在
変更	3	支店	商号変更：(株)サーティーフォー 相模原中央モデルハウス店 →サーティーフォー橋本店 所在地変更：相模原市緑区橋本1-14-3 (地区6→3) TEL：042-703-3485 FAX：042-779-4111
入会	8	本店	(株)クレワホームズ 代表者：梅村 勉 所在地：相模原市南区麻溝台6-26-4 TEL：042-705-9319 FAX：042-705-9329

★全日会員間不動産情報★ 情報募集中! 直・先物は不問、物件数により2回連続掲載します。掲載原稿は書式不問・FAX受付

形態	種類	価格/万円	最寄駅	歩バ	所在区域	土地/m ²	建物m ²	用途・使途	商号	TEL	態様

[雑記] 10月(厳しい?)登山に出かけました。登山中、ベテラン登山者と出会い、その方から有益な情報(山道状況等)を教えてくださいました。人は厳しい環境下でも、協力的になれるようです。これは支部でも似たような経験がありました。支部・人に感謝する10月でした。(綱紀副委員長 高山 勇成)